

- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ



学びの広場

ゆぐるまがわ 湯車川でサケの稚魚2万匹を放流

～伊勢堂岱遺跡 豊かな自然環境をアピール～

伊勢堂岱遺跡のサケ放流事業「第10回カムバック縄文サーモン」が、4月4日に同遺跡近くの湯車川で行われ、サケの稚魚約2万匹を放流しました。この放流事業は、同遺跡の世界遺産登録推進の一環として行っているもので、数年後にサケが遡上するすばらしい川を守りつつ、環境保護を図り世界遺産登録推進に貢献することを目的として毎年行っています。

参加者たちは、サケの稚魚が入ったバケツを持っ



▲川岸から稚魚を放流する参加者が川岸から放流し、旅立つサケが元気に戻ってくるよう期待を込めて見送りました。

地域と学校を繋ぐ地域学校協働活動に弾み

～合川小学校地域応援団製作の布マスクを寄贈～

4月20日、合川小学校地域応援団が製作した布マスク400枚を合川小児童に寄贈しました。新型コロナウイルス感染症から児童を守るため、同校地域コーディネーターが応援団を結成、集まった13人が手づくりでマスクを製作、生地を提供を地元縫製工場から受けるなど、地域一体となって実現したものです。子どもたちがウイルスに打ち勝ち、また元気な声が響き渡る日を願い手渡されました。

こうした動きは他の市内の学校でも見られ、地域



▲布マスクを手渡された合川小学校の児童と学校を結び付ける地域学校協働活動が広がるきっかけとなっています。

私たちのふるさとを知ればもっと好きになる

～郷土資料集「きらり☆きたあきた」～

学校教育課と各公民館や市内外の多くの方々の協力のもと、大切に作られた郷土資料集「きらり☆きたあきた」が完成しました。この資料集は、「知れば、もっと好きになる～You know more, you like more.～」をコンセプトに、ふるさと北秋田市に愛着や誇りをもってほしいという願いをこめ、先人が時間をかけて培ってきた魅力をまとめたものです。

ふるさとをもっと好きになるきっかけになってほしいと、市内小中学校の全児童生徒に配布され、資



▲ふるさとの魅力をオールカラーで紹介資料教材、キャリア教育、さらには調べ活動に活用できる特別な1冊です。

令和2年度 北秋田市成人式の延期

生涯学習係 ☎62・1130

毎年8月15日に開催している成人式は、延期することとなりました。今後の情勢をみながら、開催の有無を判断し、該当者には通知をさせていただきます。(来年1月開催で調整中)

対象 平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた市内在住者及び市内中学校、国際情報学院中学校を卒業された方

花と緑にあふれる美しいまちに花いっぱい運動推進協議会

☎ さかえフラワーセンター内 FAX 63・0016 (佐藤秀子)

今年も花の苗の販売を行います。販売場所 さかえフラワーセンター 種類・価格 ▼マリーゴールド(黄・オレンジ)30円 ▼サルビア(赤青)40円 ▼アゲラタム(青)40円

事前申込 6月3日(水)～10日(水) 販売日

【事前申込した方】6月20日(土)・21日(日) 【申込をしていない方】6月21日(日)

販売時間 午前5時30分～9時

※苗を入れるダンボールや箱等は各自で用意してください。

※予定数量に達した時点で予約・販売を終了します。 ※事前申込用紙は、各公民館に設置しています。

ものづくり講座 心を癒す糸かけ曼荼羅

☎ 合川公民館 ☎78・2114

日時 6月25日(木) 10時～12時
場所 合川公民館
講師 牧野楊須子さん
定員 10組(先着順、要予約)
参加費 1500円
持ち物 糸きりハサミ、筆記用具
申込締切 6月22日(月)

夏山さんぽ「ゴンドラで行く花の百名山 Mt.森吉

☎ 前田公民館 ☎84・8770

日時 7月14日(火)
ガイド 加賀隆之さん
定員 20人
募集期間 6月1日(月)～30日(火)
参加費 1800円
持ち物 雨具、昼食、飲み物、嗜好品、登山・ハイキングに適した服装
※申込は先着順になります。日程等の詳細は後日通知します。

新しい公民館長が就任しました

七座公民館 ☎67・2529
館長 成田佳則

ショーコリガシ



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.46

独りで花見

2月下旬辺りからの学校臨時休業を実施してから、不要不急の外出自粛により、家を出たり、街を歩いたりすることが少なくなり、本コラムを読んでいる市民の皆様が喜んでいただけるようなネタも減ってきています。今回は、感染リスクを減らすために、混んでいない場所・時間帯を選び、花見を一人でやってきました。仕事の昼休憩時間に、米代児童公園で散歩がてらに。たくさんの方が外出を控えている間、桜の花が咲き、そして散ってしまう…季節感が強い日本人の注目や愛情をいっぱい浴びるはずの美しい花が、見られずに…

と思いますと、悲しくなる一方です。しかしながら、私には、悲しみより、希望の方が強いです。明日は、日がまた昇ります。来年の春は、桜がまた咲きます。人の「支え合う」という気持ちは、しばらくの間に出を控えるだけで、消えるものではありません。今日の努力は明日の光へつながることを信じています。

